

たより

春の空、泳ぐ鯉のぼり

4月23日(日)、例年の如く川合球友会リバーズの会員20名が、プールから体育館にかけて鯉のぼりを掲揚しました。年々数が減っていますが、今年もどうか数量を揃えて掲揚できました。児童の通学を、50匹が空から見守っています。



川合まちづくりセンター

川合町自治会連合会

4月28日(金)午後7時から、川合まちづくりセンターで令和5年度川合町自治会連合会総会を開催しました。会長挨拶、2名の顧問・挨拶の後、提案した議題の審議と役員改選を行いました。

令和4年度の、事業報告と決算報告及び監査報告を一括議題とし、合せて提案した会則の改正共々いずれも全会一致で可決しました。今年度新たに選出された左記の皆さんが、向う1年間の川合町自治会連合会の運営を行います。

記 (敬称略)

役職 氏名 新旧 自治会

*会長 松井 功 [再任] (出岡)

*副会長(総務) 松浦 伸一 [新任] (程原)

*副会長(会計) 石谷 隆司 [新任] (神領一)

*監事 平石 邦隆 [再任] (市)

*監事 酒本 亮 [新任] (吉永上)

*川合小学校教育振興会役員

大島 一修 [新任] (向吉永)

*川合町消防後援会会長

柳 楽 和 弘 [再任] (忍原)

役員は、全員が不慣れではありますが、役員会で選任され与えられた任務を遂行致しますので、皆さま方のご協力のほど宜しくお願い致します。

4月10日には、川合小学校と池田小学校が統合しての「川合小学校」開校式が行われました。

両校ともに、150年の節目に当たる令和5年4月1日に統合しての新しいスタートになります。

地域の皆さんも、「川合小学校」と「川合小学校児童」を温かく見守って下さい。児童71名も、これまでに合同学習等を通して仲良くなっています。

川合町自治会連合会

かわいみまもりたい総会

4月22日(土)午後6時30分から、約60名弱の関係者が出席して令和5年度のかわいみまもりたい総会を行いました。総会の前段で、大田警察署の吾郷署長・松本交通課長・藤原生活安全課長の3氏に管内の状況についての講義を受けました。続いて、坂田川合小学校校長と和田大田第一中学校校長に新学期の状況を説明していただきました。尚、提出された議題については全会一致で可決されました。



かわいみまもりたい

通いの場

4月12日の通いの場は、意見交換会を行いました。昨年に続いて2回目です。4グループに分かれて、①通いの場にきてよかったこと、②改善してほしいこと、③今後やりたいことを話し合いました。

「多くの人と知り合いになれた」「バスレクがしたい」「カラオケ大会をやりたい」「野菜作りや花づくりの話が聞きたい」「軽スポーツやゲームがしたい」など色々な意見が出ました。バスレクプロジェクト委員会も発足しました。通いの場に主体的に関わっていかうとする気持ちがいしひしと伝わってくる一日でした。



《6月の予定》

- ◇6月7日(水) ミニグランドゴルフ大会
- ◇6月14日(水) 川合小学校との交流
- ◇6月21日(水) 講話「交通安全について」
- ◇6月28日(水) 音楽鑑賞・カラオケ大会

【参加者募集】

通いの場では、新規の参加者を募集中です。いづれでも元気に暮らせるよう、一緒に楽しく介護予防に取り組みましょう。概ね80歳以上の方が対象ですが、75歳以上の方も相談にのります。参加希望の方は、川合まちづくりセンター内、担当石田(電話82-5124)迄ご連絡ください。

川合地域ささえあい協議会

弔魂碑説明板設置

物部神社の鳥居のそばに現在「立神巖忠魂碑」が建てられていますが、20年前までは弓道場の上に建てられていました。しかし知る人も少なくそこで現在の場所に移転されたのです。その案内板がこの度設置されました。これまでは、詳しくは述べられていませんでしたが、案内板によって周知されましたのでご覧ください。



防災ミニクイズ解答

- ① 毎秒 0.3 m ～ 0.8 m
- ② 毎秒 3 m ～ 5 m

川合地区社会福祉協議会

4月24日(月)、川合まちづくりセンターで令和5年度の総会を開催しました。会長の挨拶に始まり、4年度の事業報告・決算報告並びに5年度の事業計画・予算等審議頂きました。承されました。

- また役員改選があり次の通りに決まりました。
- 会 長 小林 公司
 - 副会長 山根 茂樹
 - 副会長 松浦 伸一
 - 事務局 熊野 俊昭
 - 会 計 和田久美子

(敬称略)

紫綬褒章受章

おめでとうございます

川合町南出身の、三浦篤氏(美術史家・東京大学客員教授)の学術研究や芸術文化への功績が認められ、この度紫綬褒章を受章されました。この栄誉を讃え、皆さんにご報告いたします。今後の益々のご活躍を祈念いたします。

川合まちづくりセンター

小学校芝生の水まき

平成26年5月15日(日曜日)、川合小学校校庭に芝生が植栽されました。以来、川合町内の各自治会、各団体・組織及び関係者の維持管理により、毎年水まきを行なっている皆さま方のお陰で「緑」を保っています。今年も、日程と順番が決定しますので皆さま方のご理解とご協力を宜しくお願い致します。

川合小学校みどりを育てる会



川合分団「火の用心」



＊全国統一標語

『お出かけは マスク戸締り 火の用心』

《火の用心・その1》

4月28日(金)、午後7時から川合まちづくりセンターで川合町消防後援会の総会を開催致しました。総会は委員(自治会長)出席のもと、後援会長と相談役2名に分団長・副分団長・部長が出席して、川合町自治会連合会の総会に先立ち行ないました。総会では、提出議案の令和4年度の活動事業と決算及び監査報告、並びに令和5年度の活事業計画(案)と予算(案)について審議されましたが、何れも全会一致で承認されました。

今年度も、川合分団は分団長以下団員一同、川合町の安全安心のため、防火・防災に努めて頑張りますので宜しくお願い致します。



《火の用心・その2》

例年の如く、これから先6月にかけて梅雨に入りジメジメと鬱陶しい季節がやってきます。

皆さんも平素から、此処は「気になる場所だ」「崩れている場所だ」「崩れやすい場所だ」「側溝にごみが溜まり易い場所だ」「水が入ってくる場所だ」等々、注意することが多々あると思います。このような心配な場所・危険な場所等は、平常時から少しづつでも補強したり・片付けたり・掃除等をしておきましょう。地盤が緩んで、思わぬ場所から被害が発生することもあります。もう一度周囲を見渡して、自分の目で見て少しでも心配だと思えば躊躇せずに、減災の対応をしておきましょう。これは、人のためではなく自分のためです。

大田市消防団川合分団
川合町消防後援会

投稿欄

『あっちこっちいく隊 II』

あっちこっち その169

『慌ただしい4月』

年度初めは、何かと行事が立て込んで慌ただしく月日が過ぎます。同日に、行事が重なることも多々ありますが、午前と午後であれば時間的に対応できます。同時刻等の場合は、連絡の早いものから入れていきます。但し、内容の重い場合は後出しジャンケンも致し方ない場合があります。「ごめんなさい」で、あちらを立てればこちらが立たず。と云うこともたまにはあります。

『今は昔』

出岡には旧川合中学校が立っていました。その旧川合中学校跡地も現在ではケアハウススビラおだ、大田市学校給食センターが建っています。今年4月から、大田市森林組合の旧育苗圃に、新しい福寿園の施設が建設中で、付近の景色も随分と様変わりして一変しました。予定としては、12月末までには完成するというのですが、工期が延びれば令和6年1月完成か? 聞き及ぶ情報によると、現存と違って平屋建てで、入所者の皆さんは今より広い個室ということでした。

『防災ミニクイズ (解答は4面)』

各地で火災が発生しています。火災による煙の危険性、建物内での煙の速さはどれ位ですか?

- ① 煙は出入口や開口部の横方向に向かって、毎秒 \sim mの速さで拡散する。
- ② 煙は階段では縦方向に、毎秒 \sim mの速さで上階に向かいます。

※参考 人の階段での歩行速度は毎秒0.5mです。記事を探して「あっちこっちいく隊」



春の全国交通安全運動

「その1」

5月11日から20日まで、全国一斉

に春の交通安全運動が展開され、大田市でも11日(木)に交通安全決起大会が仁摩町の「道の駅いせ仁摩」で行われました。大田市長・大田警察署長挨拶、交通安全決議宣言がありました。仁摩保育園児4名が一日おまわりさんに任命され元氣よく決意表明を行いました。式典後は、チラシ等を配布して交通安全を呼びかけました。

「その2」

5月15日(月)午後4時30分過ぎころ、川合町吉永の上り線田中台バス停付近で、自乗車の中学生と乗用車が接触するという交通事故が発生しました。幸いにも、中学生も大きなケガではなく腕の打撲程度ですみましたしヘルメットは正しく着用していました。この程度で済んだから良かったですが、一歩誤れば重傷若しくは死亡の可能性もあります。見通しの悪い場所では、一旦降車か停車して安全性を確認しましょう。

大田市交通安全協会川合支部
川合町安全連絡協議会

かわいの自主防災

皆さん、住宅用火災警報器を設置しましょう。「煙を感知」するもの、「熱を感知」する機能のものがあります。義務付けされたのは「煙を感知」するもので、機器の寿命は概ね10年です。誤作動する前に、買換えた方が無難です。川合町自主防災会協議会





JA女性部川合支部

5月8日(月)、美化ウオークの一環として、まちづくりセンターの草取りと高松地方面のごみ拾いを15名が参加して行いました。

高松地方面では道路の脇にたくさん空き缶が捨てられていてモラルの低さをつくづく感じられました。センターでの草取りはみなさん腰が痛いと言いながら頑張っておられました。おかげできれいになり有難うございました。

伝承します川合の文化財

川合町文化財めぐり⑱ 坂根幸夫

出雲族の神社？

吉永の新具蘇姫命神社について、興味深いことがいろいろあります。それは、この神社が出雲族と関係が深いのでは？ということなのです。

まず出迎えてくれる狛犬は、尻をあげた出雲型です。

大正3年の設置ですから、手作りで昔からの型を受け継いでいると思われま



拝殿の注連縄は、左本右末で左から縋っているのが分かります。これは大社や大神神社の縋い方と同じで、通常の縋い方ではありません。こういったかけ方はまちがっていればその時指摘されるはずで、これが続いているのはそれなりの意味があると思えます。



本殿の千木が縦削ぎで、女性神なのにどうして？とよく話題に出ます。祭神の男女で千木の削ぎが異なるというのは俗説で、出雲王国の豪族の住居は縦削ぎで、そのころの筑紫平野にいた物部氏の住居は横削ぎであったという説があります。

出雲に関わる神社の神紋には、「三」や「三つ巴」などがよく見受けられるそうです。新具蘇姫命神社の神紋にも「三つ巴」が入っています。



吉永村と川合村の境に物部神社の末社が二社あ

ります。物部神社の末社は、神社領の範囲を示しているのではないかとこの声もありますが、国道375号沿いに「新屋若宮社」(武諸遇命)が祀られてお



り、そのほんの100m離れた田んぼの中に「郷原若宮社」(宇摩志麻治命の長子味耜田命)が祀られているのは、やはり出雲族と物部氏の関係を想像してしまえます。

さらに、神領との境を流れる川を「八頭川」といい、その谷を「八頭谷」奥の山を「八頭山」というのですが、八は出雲族の聖なる数であることを考えると、どうしてもその境にあった神社の祭神は、出雲族ではないかと思ってしまうのです。

どこにも書かれていない勝手な想像をしてみました。身近な文化財をいろいろな視点で見ても楽しいものです。

お悔み

- 4・5月になくなられた方
 - 神領一 奈義良 百合子 様
 - 南 森本 八重子 様
 - 野田 林 和真 様
 - 神領一 松田 三喜雄 様
- 謹んでお悔み申し上げます。

香典返し

- 吉永下 森山 靖夫 様
- 忍原 松本 里美 様
- 吉永上 田平 美由紀 様
- 南 岩切 則夫 様
- 神領一 奈義良 稔 様

5名の方より、香典返しにかえて金一封のご寄付を頂きました。厚くお礼を申し上げます。お知らせいたします。(川合地区社会福祉協議会)